家庭園芸

"六月の園芸センターだより"

この時期は、晴れると気温もぐんぐん昇り、夏の暑さを思わせる日があります。

連日の晴天で乾ききった樹木に恵みの雨。雨上りのセンターは木々の緑がいっそう鮮やかです。

植栽樹木は約百六十種、四千四百八十本余りで、雑木といわれるものの中から、緑化木、庭木として向くと思われるものを取り入れてあります。春の芽ぶき、夏の緑陰、秋の実と紅葉、冬の樹形と四季折々楽しめるのが雑木の特色です。ナナカマド、カエデ類、エゴノキ、カツラ、トチノキ、コブシ、ウツギ類、ニシキギ、ガマズミ、マユミ等。

また、これらの樹木の標示板を新しくし、よりわかりやすくしましたので、ご参考になさってください。

毎回、好評をいただいています山野草展、今年は春秋のほかに夏の山野草展を開きます。期日は六月二十日（土）～二十一日（日）、午前九時～四時半です。出品は新潟山草会々員の作品約百五十点です。山草に興味をお持ちの方は是非おいでください。

ご相談は 園芸センター（☎86―1034）へ。月曜日は休園です。（月曜が祝日のときは火曜日休園）

新潟市民の文芸誌 「文芸にいがた」作品募集

市民の文芸作品の発表の場として、今年から文芸誌「文芸にいがた」が発刊されることになりました。小説、詩、短歌など七種目で、市民の皆さんから作品を募集します。ふるってご応募ください。

小説・詩など 7種目

新潟市には、美術部門に「市美術展」があり、第十二回を教えるまでに成長、毎年多くの応募があります。

しかし、文芸部門には、作品発表の場がなかったため、今年から新しく、文芸誌「文芸にいがた」を発刊することになりました。

詩、短歌など七部門について作品を公募し、その中から入選作を選び、「文芸にいがた」に掲載します。発刊は、十二月上旬の予定で、入選作品のうち、優秀なものには「文芸にいがた文学賞」を贈ります。

応募締め切りは八月三十一日。皆さんふるってご応募ください。

なお、発刊作業は、審査員と中央公民館の同人誌グループの代表で構成された「発刊運営委員会」が手がけます。

種目	要項
小説	四百字詰原稿用紙30枚以上50枚以内
詩	現代詩とする、40行以内
短歌	雑詠五首を一編として審査
俳句	雑詠五句を一編として審査
川柳	〃
児童文学（童話）	四百字詰原稿用紙25枚以内
随筆	四百字詰原稿用紙5枚以上10枚以内

応募資格 新潟市民であればどなたでも
種目 上表
審査員 ▼小説＝伊狩章（新大人文学部教授）▼詩＝田村達爾（「造型」同人）▼短歌＝湊八枝（新潟短歌）▼俳句＝蒲原宏（県立ガンセンター副院長）▼川柳＝下村梵（武玉川文芸社）▼児童文学（童話）＝中野一松（元万代小校長）▼随筆＝高沢正樹（BSN人事室長）※敬称略
その他 (1)応募作品は、一種目につき一編、未発表のもの (2)応募原稿は返却しない (3)原稿用紙一枚を表紙とし、住所氏名、年齢、性別、職業、電話番号、ペンネームの場合は本名を（ ）書きする (4)小説はあらすじ（二枚以内）をつける (5)原稿は四百字詰原稿用紙（B4版）に縦書きにする
応募先 八月三十一日（消印有効）までに、直接または郵送で中央公民館「文芸誌係」（〒951 西堀通六）※朱書きのこと
問い合わせ 市中央公民館（☎28―一〇〇〇）または、各地区公民館へ

市長随想 小さくもさわやかな

いい季節になった。さわやかで私の最も好きな季節である。このさわやかさに符丁を合わせたように、友人が小さな、そしてさわやかな活動をはじめた。新潟にたくさんの宵待草（まつよいぐさのこと）を咲かせたいという。

三月に初会合、四月末の休日には仲間と海岸を歩き同行のI先生の話を聞きながら植物の生態を調べたと聞く。次回は六月初め宵待草の咲く夕方に集まろうということらしい。先日の海岸歩きで、砂丘に、そして近くの道ばたにひっそりと生きている多くの植物の存在に、みんなが驚き、感激したようだ。もうこの活動は宵待草だけでなくなって、以前新潟の砂丘にあった植物を、海岸に、自宅の小さな庭に、庭がなければ鉢植えでもよい、一人が十本、十人いれば百本という具合で増やし、その段階でもう少し広く呼びかけたい、それまでは市長はだまって見ていてくれ、という。さらにいう、市長が「ななかまど」のことを書いたら市内に多く見られるようになった、俺も好きだからそれはいい、しかしあれは山の木、もともと新潟にあった草や木がなければそれは新潟の街でない、と。会報第一号が送られてきた。この種のことにトンと無知な私に、実に多くの、ちゃんと名前をもっている砂丘植物の存在を知らせてくれたのである。よく名もない草というけれども、みんな名前をもっていて、その一つひとつがこの世の中をうるおしてくれている。人間も全く同じではないか。市井の片隅でまじめに生きている人たち、テレビの減点ファミリーの歌の文句でないけれども、誰もマルをくれないけれど、ぼくから大きなマルをあげるよーである。降りさえしなければ朝食前に海岸の林を歩きはじめた私に、新しい楽しみが加わった。このグループの名は「うんらん」（砂丘植物の一つ）である。

（五月二十二日）

新潟市長 川上喜八郎

募集！ 「市民大学」企画運営委員

中央公民館では、秋に開催予定の「市民大学」の企画運営委員を募集しています。市民大学は、「地方自治」・「地域」を広い視野でとらえて、市民が学習していく講座です。助言者とともに学習しながら市民大学の企画運営をしませんか。

委員会開催日時 六月十九日～七月三十一日毎週金曜日午後六時半～八時半（計七回）
会場 中央公民館
対象 成人十五人
助言者 新大教授、弁護士等
申し込み 六月十三日までに四百字原稿用紙で「市民大学の内容」について書き、住所氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、中央公民館「市民大学企画運営委員会」係（〒951 西堀通六、☎23―七〇七〇）へ

職域の部 ブロック別優勝予想 ―3―

Iブロック 国保連が一歩リード

絶対本命の新潟トヨタが早々と一回戦で姿を消した。陽光運輸には青木―服部の好バッテリーがいるが、総合力では断然トヨタが上と見られていた。トヨタの敗退で県国保連がグッと浮びあがってきた。次いで東北電力新潟営業所、投手力の良いゼットスポーツ、金星をあげた陽光運輸、勝山家具、試合巧者の石油荷役、太平興業、新潟通信機と続く。

国保連には、好投手の左腕岡田がいる。守備も良く硬式野球経験者で固めている。しかし、ちょっと荒っぽい攻撃が気になる。東北電力は下手投げの松代、左腕の広沢を中心に良くまとまっている好チーム。ゼットスポーツは、シュートの良い内海投手を中心に大半を硬式経験者で固め、出場二回目にして初優勝をねらっている。

岡田投手（県国保連）

内海投手（ゼットスポーツ）

Jブロック コクヨ、経済連 ナカムラの争い

一番楽なブロックとなった。実力的に図抜けているチームはないが、良くまとまったチームが多い。新潟コクヨ、ナカムラ、経済連のシード組が一歩リード。次いで大形農協、サン化学、大新合板工業、全通中央集配と続く。要注意なのがときわ寿し。昨年、市立工高を出た速球の中村投手が健在である。コクヨはエースの高木をはじめ主力を長岡商業野球部OBで固め、打力には絶対の自信を持つ。ナカムラも、チーム全員を硬式経験者で固めた好チーム。エース樋浦は学生時代、準硬式の全国大会で活躍した。経済連は、豊富な練習量と田村捕手を中心としたしぶとい打線が売り物。大形農協は、ラグビーで鍛えた平捕手の活躍が見もの。

広瀬投手（経済連）

古川投手（東芝電気）

Kブロック NTNと東芝がリード

好投手古川のいる東芝電気。打線が売り物の新潟NTNが一歩リード。次いで新潟臨港海陸運送、北越製紙、新幹線、田村紙店、日産プリンス新潟販売、ニチエー、新潟地方法務局、北越エンジニアリングが紙一重で続く。三年連続ブロック優勝のNTNは、小島、渡辺、近、小池の打線は破壊力抜群。しかし、投手陣がちょっと弱い。東芝は、大会きっての好投手古川がいる。大きく割れるカーブと快速球は、バットに当てるのさえなかなか難しい。臨港海陸は、新商から砂原、永井の有望新人が入社し、張り切っている。新幹線は、森田、佐々木両投手を中心に守りを固めた守備のチーム。北越製紙は、昨年惜しいところで優勝をのがした。近田投手の出来次第によっては有望。

（敬称略）

小島内野手（新潟NTN）

ジャズの歴史講座第2弾 特集 マイルス・ディヴィス

日時 6月11・25日午後6時半～8時半
会場 鳥屋野地区公民館
講師 大野成一
問い合わせ 金井（夜間のみ☎31―3579）へ
主催 新潟ジャズファン

石山中央婦人学級

日時 6月19日～1月28日毎月第2・4木曜日午前10時～正午（計14回）
会場 石山地区公民館
定員 婦人40人 **運営費** 500円
申し込み 電話で石山地区公民館（☎86―5631）へ

テーマ	講師
マスコミと日本語	新大人文学部助教授 阿部健二
新潟弁の特色	西新発田高校教諭 野口幸雄
語と意味	沼垂高校教諭 日野英子
漢字と日本文化	日本歯科大教授 永井行蔵
現代の敬語	阿部健二
日本人のことばと感覚 情緒的表現と論理的表現	新潟商業高校教諭 遠山圭一
交歓会	公民館職員
個性的な表現とは ―作家とその文章―	新潟高校教諭 若月忠信
はなしことばについて	新津高校教諭 有坂巌
書きことばについて	〃
婦人と生活	講師・内容は、みなさんの話し合いで決定します。

くらしの1日教室

日時 6月19日午前10時～正午
会場 中央公民館
テーマ 消費者のための法律知識
定員 40人（先着順）
講師 坂東克彦氏（弁護士）
申し込み 電話で消費生活センター（☎28―8100）へ

銃砲刀剣類登録審査会

日時 6月15日午前10時～午後3時（受け付けは午後2時半まで）
会場 新潟地区合同庁舎（川岸町3丁目）
持参品 ①登録を受けようとする銃砲刀剣類②銃砲刀剣類発見届出受理証③登録手数料（1件4,500円＝県収入証紙で納入）④印かん
問い合わせ 県教育庁文化行政課（☎23―5511）へ

健康体操（導引法）講習会

日時 6月12・19・26日午後1時半～3時半
会場 鳥屋野地区公民館
内容 呼吸法を主とする健康体操
定員 30人（先着順）
申し込み 電話で鳥屋野地区公民館（☎85―2371）へ ※体操のできる服装で

初心者のための観世流謡曲教室 主催 観石会

日時 6月15日～8月3日毎週月曜日午後7時～9時（計8回）
会場 石山地区公民館
講師 岡村精次（観世流準師範）ほか
経費 テキスト代2,200円、運営費1,000円
申し込み 6月12日（必着）までに、はがきで石山地区公民館内「観石会」係（〒950 石山1―1―12）へ

市中学校体育大会兼 新潟地区中学校総合体育大会予選

日時 6月9日、10日午前9時～、市内24会場で※予備日は6月11日、12日

ネクタイ無料講習会

父の日に手作りのネクタイをプレゼントしませんか。
日時 6月11日午前9時～午後3時
会場 市青年の家（弁天町）
材料費 1,500円
持参品 ハサミ、針
申し込み 堀（☎76―4551）、または中島（☎76―1507）へ

劇団新潟 旗揚げ公演 三好十郎作「獅子」

日時 6月13日午後2時半～、6時半
会場 県民会館小ホール
入場料 1,000円（当日1,200円）